



令和2年11月13日

「2020年ノーベル賞解説講演会」を開催します

今年のノーベル物理学賞は、ブラックホールに関連して研究者の3名が受賞しました。ロジャー・ペンローズ氏は、アインシュタイン自身もその存在を信じていなかったブラックホールが一般相対性理論の直接の帰結であることを証明しました。ラインハルト・ゲンツェル氏とアンドレア・ゲッツ氏は、私達の銀河系の中心に太陽のおよそ400万倍の質量の超巨大ブラックホールが存在することを明らかにしました。

ノーベル化学賞は、エマニュエル・シャルパンティエ女史とジェニファー・ダウドナ女史が受賞しました。2人は「CRISPR-Cas9」（クリスパー・キャスナイン）と呼ばれるゲノム編集の画期的な手法を開発しました。簡単でより自在に遺伝情報を書き換えることができることから、すでに作物の品種改良やがんの新しい治療法の開発、新型コロナウイルスの研究に用いられています。

これらを受けて当センターでは、一般の方、学生、教職員を対象として、2020年ノーベル物理学賞およびノーベル化学賞についての解説講演会を開催することといたしました。

オンラインによる開催となっており、参加費は無料です。是非お申込みください。

記

【2020年ノーベル賞解説講演会】

●日時：2020年12月12日（土） 13:00～17:00（予定）

●方法：オンラインによる配信

●題目・講師：

13:00～ 「ペンローズの数学」

木村 俊一 教授（広島大学先進理工系科学研究科・数学プログラム）

13:30～ 「ペンローズのブラックホール物理学の偉業」

小嵐 康史 教授（広島大学先進理工系科学研究科・物理学プログラム）

14:15～ 「ゲノム編集とはなにか」

山本 卓 教授（広島大学統合生命科学研究科・数理生命科学プログラム）

15:30～ 「物理学賞『銀河系の中心にある巨大ブラックホールの発見』の解説」

植村 誠 准教授（広島大学・宇宙科学センター）

講演終了後 質問コーナー

●参加費：無料

●お申し込み：

右のQRコードまたは下記URLよりお申し込みください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/rigakuyugo/news/60918>

講演会に参加するための情報を折り返しご連絡します。

※申込締切：12/11（金）12:00



●主催/共催

主催 広島大学理学部附属理学融合教育研究センター

共催 広島市こども文化科学館

極限宇宙研究拠点 CORE-U

ゲノム編集イノベーションセンター

【お問い合わせ先】

広島大学理学部附属理学融合教育研究センター

Tel : 082-424-4384

E-mail : ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 2枚（本票含む）

オンラインによる開催決定!

2020年ノーベル賞解説講演会

日時 12月12日(土) 13:00~17:00(予定)

方法 オンラインによる配信

参加費
無料!!

題目・講師



「ペンローズの数学」
木村 俊一 教授
(広島大学先進理工系科学研究科数学プログラム)



「ペンローズのブラックホール物理学の偉業」
小鳶 康史 教授
(広島大学先進理工系科学研究科物理学プログラム)



「ゲノム編集とはなにか」
山本 卓 教授
(広島大学統合生命科学研究科数理生命科学プログラム)



「物理学賞『銀河系の中心にある
巨大ブラックホールの発見』の解説」
植村 誠 准教授
(広島大学宇宙科学センター)



講演終了後 質問コーナー

お申し込み 申込締切: 12/11(金) 12:00

右のQRコードまたは下記URLよりお申し込みください。
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/rigakuyugo/news/60918>
講演会に参加するための情報を折り返しご連絡します。



お問い合わせ

広島大学理学部附属理学融合教育研究センター
Tel: 082-424-4384 / Email: ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp

主催 / 共催

主催 広島大学理学部附属理学融合教育研究センター
共催 広島市こども文化科学館
極限宇宙研究拠点CORE-U
ゲノム編集イノベーションセンター